

月 日 名前 _____

／100点

次の問題に答えましょう。（各10点）

- 1 国内で食べられる食料のうち、国内で生産された割合を何といえますか。

答え

- 2 米と小麦では、自給率が高いのはどちらですか。

答え

- 3 自給率が低く、多くを輸入にたよっている作物を2つ答えましょう。

答え

- 4 食品の生産から販売までの記録をたどれるしくみを何といいますか。

答え

- 5 地域で生産されたものを、その地域で消費することを何といいますか。

答え

- 6 食料の重さに運んだきよりをかけた数値を何といいますか。

答え

- 7 まだ食べられるのに捨てられてしまう食品を何といいますか。

答え

- 8 消費期限と賞味期限のうち、安全に食べられる期限を表すのはどちらですか。

答え

- 9 国内で育てた牛やぶたでも、自給率が低く計算されることがあるのはなぜですか。

答え

- 10 日本の食料自給率が下がった理由を1つ答えましょう。

答え

- 1 答え：食料自給率
- 2 答え：米
- 3 答え：小麦・大豆
- 4 答え：トレーサビリティ
- 5 答え：地産地消
- 6 答え：フードマイレージ
- 7 答え：食品ロス
- 8 答え：消費期限
- 9 答え：えさ（飼料）の多くを輸入しているから
- 10 答え：（例）食生活が変化し、米の消費が減ってパンや肉がふえた

要点まとめ

- ・ 日本の食料自給率は低く、食料の多くを輸入にたよっています。
- ・ 米は高く、小麦・大豆は低い。パンやめん類、とうふ・みそ・しょうゆの原料の多くが輸入です。
- ・ トレーサビリティは「食品の生産から販売までの記録をたどれる」しくみです。

解法ポイント

- ・ 米は高く、小麦・大豆は低い。
- ・ トレーサビリティ・地産地消・フードマイレージ・食品ロスの意味を言えるようにする。
- ・ 自給率の数値は年で変わるので資料集で確かめる。